

日本語を教える楽しさがここに。
さあ、インドネシア・フィリピンへ

平成30(2018)年度 EPA 日本語 講師募集

応募
締切

第1回 2018年1月10日(水)

第2回 2018年3月30日(金)

第1回応募には
特典があります！

詳しくは裏面をご覧ください

EPA日本語予備教育事業とは、経済連携協定(EPA)に基づき来日を希望するインドネシア・フィリピン人看護師・介護福祉士候補者を対象に、現地で約6ヶ月間実施する初級から中級程度の日本語教育です。来日後、医療・福祉施設で就労しながら日本の看護師・介護福祉士の国家資格取得を目指す高いモチベーションをもった候補者に、日本語を教えることができる非常に意義深い仕事で、自身の成長につながるところも魅力のひとつです。

● EPA日本語講師の仕事内容は？

専任講師

クラス担任

Team Teaching

現地では週5日間授業があり、他のEPA日本語講師や現地講師とチームを組んで、専任講師として日本語クラスを担当します。

担当する日本語授業は週12～15時間で、その他にも日本での生活に必要な社会文化理解の授業、自律学習支援、口頭能力を含む評価作業等、さまざまな教務を担います。教務主任・副主任として派遣されている日本語教育専門家の支援のもと、予備教育の実践の場で密度の高い経験を積むことができます。

● EPA日本語講師の応募条件は？

EPA日本語講師は、比較的日本語教授経験の少ない方でもチャレンジできる短期のプログラムで、現在20～60代の様々な経歴の方が活躍しています。授業は基本的に直接法で行いますので、現地語の能力は必要なく、看護・介護に関する専門

知識も必要ありません。過去の参加者にはEPA日本語講師として連続して派遣を希望して経験を積む方、また国際交流基金の日本語指導助手や日本語専門家、上級専門家へステップアップして活躍中の方もいます。

年齢	学歴	日本語教育学習歴	日本語教授経験	派遣期間	派遣国
65歳未満	4大卒以上	(a)大学で日本語教育を主専攻 / 副専攻として修了した者 (b)日本語教育能力検定試験に合格した者 (c)日本語教師養成講座 420 時間を修了した者	日本語教育経験については不問ながら、ティーチングアシスタントやチューターも含め経験があることが望ましい	約7ヶ月	インドネシア フィリピン

応募に関する詳細はこちら

http://www.jpjf.go.jp/j/about/recruit/epa_2018.html

JAPAN FOUNDATION
国際交流基金



● 候補者について教えてください！

多くが日本語未習者です

将来日本で看護師・介護福祉士として就労することを目指す20代を中心としたインドネシア・フィリピン人で、その多くが日本語未習者です。現地での6ヶ月間の日本語研修後に来日し、さらに日本で6ヶ月間のより実践的な日本語研修を経て、受入施設で就労・研修しながら国家試験に挑戦します。

● 海外で暮らすのが初めてなのですが…？



● 応募から派遣までのスケジュールは？

1 応募

国際交流基金ウェブサイト「採用情報」の応募案内をご覧ください。



2 選考

第1次選考(書類選考)と第2次選考(面接・模擬授業・グループワーク)があります。



3 派遣前研修

9月上旬に約10日間の事前研修を実施します。



4 インドネシア・フィリピンへ！

10・11月から翌年5月まで約7ヶ月間の業務です。

応募に関する詳細はこちら▶ http://www.jpjf.go.jp/j/about/recruit/epa_2018.html ※応募年により時期は変わります。



● 日本語の教授経験がない(少ない)のですが…？

第1回応募分の内定者の中で、教授経験が多くない内定者を対象にした**教授法強化プログラムを実施！**
2018年5月15日～25日@関西国際センター(予定)
ぜひ第1回応募分(1月)にご応募ください。

● 経験者の声



いろいろな講師と一緒に仕事ができ、教え方や考え方など学ぶことが多く勉強になります。(20代 女性講師)

日本語教師としての成長に意欲的な皆様のご応募をお待ちしています！

お問い合わせ

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)日本語事業部 事業第1チーム EPA 担当
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1 Fax: 03-5369-6040 E-mail: epakenshu@jpjf.go.jp
<http://www.jpjf.go.jp/j/index.html> ※電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

